

## 2020年度 専門教育ガイダンス 看護学科2年生

2020年4月8日更新

以下の点に留意し、履修のてびきを熟読してください。

1. 2年生では科目数が多くなるが、単位を落とさないこと。
  - 前期科目を落とした場合は、3年生前期の時間割が過密なため、次年度の再履修が難しくなる。
  - 後期の科目を1つでも落とした場合は、3年次の領域別実習履修要件等の条件から、必然的に1年間の留年が決定する。
2. 専門基礎・専門科目のうち、選択7単位はなるべく4年生まで残さないこと。受講者が10名に満たない選択科目は不開講になるため4年次の履修が難しくなる。
3. 今年度から新しく開講されるリベラルアーツ教育科目の「伝統文化」は、今年度は看護学科対象に開講していないため履修登録できない。3年生で履修すること。
4. 保健師課程希望者は2年生末の選抜試験を受験すること。
  - 選抜試験受験要件である2年生後期科目開講の選択科目「学校保健」、「健康教育論」(履修のてびき p.78 参照)を履修しておくこと。
5. 養護教諭希望者は、以下の点に留意すること。
  - 自由科目(教職科目)と専門科目等の中の「養護に必要な科目(「養護概説」)の履修をすること。2年生でしか取れない科目があるので取りこぼしがないようにすること。
  - 養護教諭教育課程履修については、コアとなる看護学の科目以外に多数の教職科目が2年次に集中している(履修のてびき p.78-79 参照)ために、履修者の過重負担に伴い、これまで養護教諭教育課程履修者 GPA の低下傾向が問題になっている。養護教諭希望者は、とりわけ1年次以上に、しっかりと計画的に学習を進めていくようにすること。
  - 教職科目には「配当年次2・3年」と設定されているものが複数あるが、3年後期は臨地実習があるので実習以外の科目は一切履修できない。必ず2年次のうちに履修しておくこと。また、前期についても次年度確実に履修できる保証はない(必修科目や保健師科目と時間割が重複する可能性あり)ので、なるべく2年次のうちに履修しておくこと。
  - 教職の自由科目を取る学生は履修登録単位の上限を超えてしまうので、修学Gの「履修変更届」に、科目名と理由を記して、学科教務委員長の押印をもらい、修学に届け出ること。また、履修登録漏れ、登録間違いの修正に関しても下記の捺印が必要となるので、くれぐれも慎重に登録すること。集中講義の基礎看護学実習Ⅱを必ず履修登録すること。

以上、看護学科教務委員